

一集会状況一

	男	女	計
主日礼拝 3/13	26	63	89
教会学校 3/13	8	9	17
成人科 3/6	0	4	4
聖書研究会 3/15	1	6	7
野村港南台集会 3/16	1	6	7
入門講座 3/17	5	6	11

一牧師室から一

礼拝説教で使徒言行録を学び終えた。復活の主に出会った弟子たちに聖霊が下った時、イエス・キリストがお示しになった全てのことを理解させられた。イエスを主キリストと信じる共同体、最初の教会が喜びの中で誕生した。それが紀元後30年頃、エルサレムでの出来事であった。弟子たちは「イエスは生きておられる。私たちは、その証人である」と聖霊に押し出され宣教に乗り出した。その宣教は、幾多の迫害に会いながらも瞬く間に広がった。

使徒言行録は、とらわれの身のパウロがローマで宣教に励んでいるところで終わっている。それが紀元後60年頃である。教会誕生から僅か30年ほどでエルサレムの片隅で起こった出来事が、パレスチナ、小アジア、ヨーロッパ、そして時の都ローマにまで達した。驚くべきことである。ここにおける弟子たちの働きは、文字通り命を賭けた宣教で、事実ステファノとヤコブは殉教している。ただ敬服させられる。

使徒言行録の著者ルカは、弟子たちの言葉と行動を感激をもって記しているが、彼らをそのように動かした「聖霊」があくまで主人公で、聖霊が崇められることが本意ではないかと思う。そう思う時、使徒言行録の続編は、代々の教会が生き、そして記し続けていると理解される。それは、同じ聖霊が私たちの港南台教会をも使徒言行録の続きを生きるように導いてくださっている信仰へとつながる。私は、それが嬉しく本当に光栄あることだと、説教しながら深く教えられてきた。

週報

1994年3月20日 復活前第2主日

巻14 51号

1993年度教会主題

「キリストが私たちの内に形づくられる」

聖句 二人は言った、「キイエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます。」そして、看守とその家の人たち全部に主の言葉を語った。

使徒言行録 16章31節～32節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 教会の組織を再検討し、キリストの体を作る。
 3. 家族こぞって主イエスを賛美する。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323 振替 横浜 9-13994

牧師 秋吉隆雄

牧師宅 電話 045-833-6616